

# 本別町

## 課題

地域活性化を目的し地場産品を活用した農商工連携を推進することを目的として、これまでにキレイマメブランドづくりに取り組んできているが、他の農産品に関してはまだ十分に進んでいない。

## 実現を目指していく地域のイメージ

新商品開発の担い手づくりを進め、地場産品を活用した農商工連携を推進することにより「キレイマメ」に続くブランド形成を図り、もって本別町の地域活性化を目指す。

## 調査事業の概要

### 1.新商品開発推進調査

#### (1)新商品開発調査

- ①全国の地場産商品販売事例
- ②商品開発技術調査

#### (2)市場調査

- ①地産地消事情動向調査
- ②パッケージデザイン等による宣伝手法の検討
- ③現地調査

### 2.本別町農商工連携人材育成セミナー

農商工連携の担い手を育成するために地域ブランド化の考え方、商品開発にあたってのコンセプトやマーケティング等の考え方、さらには、商品イメージの向上を図るためのパッケージデザインの考え方をテーマとして講習を実施。

## 対応策の提示

### <これまでのノウハウ、対応策>

- ・農業者、商業者がそれぞれの分野で持った知識の中でしか取り組まれていない現状があった。

### <調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策>

- ・農商工連携、住民参加といった地域一体となった取組みが重要。
- ・成分抽出による機能性食品や健康食品の開発事例が多い。
- ・生産者が見える商品、地域の取組みが見える商品を開発することが重要。
- ・安全・安心、健康商品に対する志向が高い。
- ・商品コンセプト、ターゲットの掘り下げ等の十分な戦略が必要。
- ・本別町のブランド化の取組みなど、情報発信を行うことが必要。

### <今回の調査により得られた新たな課題>

- ・商品開発に向けての資源調達、加工等の体制づくりの方向や市場性を踏まえた商品アイテムの設定。
- ・地域ブランド化を推進するためには、地域一体となった取組み。